

◇行事報告◇

No. 23-21 講習会

「サステイナブルコミュニティの形成に向けた暮らしとものづくりの最新技術動向」報告

部門企画委員会 井上国宏 (IHI)、竹丸竜平 (東芝 ESS)、中垣隆雄 (早稲田大)、
矢葺健史 (TEPCO HD)、湯淺 朋久 (電中研)

2023年5月11日(木)および12日(金)に「サステイナブルコミュニティの形成に向けた暮らしとものづくりの最新技術動向」と題した講習会をオンラインにて開催した。第1日目は「暮らし」を主軸に私たちの生活に基づいたコミュニティとしてのスマートシティ、第2日目は「ものづくり」を主軸に持続可能な産業コミュニティの在り方を幅広く紹介し、2日間にわたり24名が参加した。

1日目のご講演1件目は東北大学 中田俊彦様の「地域エネルギー需給データベースを活用したエネルギーシステムのサステナブル戦略」で、エネルギーデータの整備と地域デザインへの活用と課題の提起、地域エネルギー需給データベースを用いたシミュレーションの実演をいただいた。

ご講演2件目は早稲田大学 田辺新一様の「サステイナブルコミュニティの形成におけるZEB(ネット・ゼロ・エネルギービル)の役割」。省エネに関する最新の法的整備状況、運用時のCO2排出量の削減だけでなく、建設時のCO2排出量(エンボディド・カーボン)の削減の重要性を指摘いただいた。

ご講演3件目は積水ハウス 寺西一浩様の「求められる建築・建設分野の脱炭素化とZEHの普及に向けた取り組み」では、戸建住宅販売件数の92%をZEHとする企業戦略、CO2排出削減とビジネスの両立の実例をご紹介いただいた。

2日目のご講演1件目は川崎市臨海部国際戦略本部 江崎哲弘様より「カーボンニュートラルコンビナート形成に向けた川崎市の取組」で、石油精製・化学等の工場、エネルギー・物流等の施設が集積する川崎市臨海部のコンビナートの特徴、川崎カーボンニュートラルコンビナート構想をご紹介いただいた。

ご講演2件目は三菱ガス化学 藤岡慎也様より「環境循環型メタノール構想(Carbopath)によるサステイナブルなモノづくりへの貢献」と題し、MGCの描く2050年カーボンニュートラルの世界、既存のメタノール事業から環境循環型メタノール構想とメタノールを介したカーボンリサイクルの取り組みをご紹介いただいた。

ご講演3件目は三菱マテリアル 小隅誠司様より「自動車用LIBを含めた都市鉱山からの資源回収の取組」と題し、都市鉱山を活用した金属の材料リサイクルの実際、北九州地域でのLIBリユース・リサイクル技術・システム実証をご紹介いただいた。

最後に小川委員長より閉会の挨拶をいただき講習会は終了した。

末筆ではあるが、今回の講習会開催にあたり、ご講演いただいた6名の講師の先生方にお礼を申し上げる。また、オンライン開催ながら、活発にご質疑いただいた参加者の皆様にも感謝申し上げます。

